

様式第6号(第5条関係)

令和3年11月12日

酒田市議会議長 小松原 俊 殿

会派名 公成会

代表者名 富樫 幸宏

令和3年度政務活動費報告書の提出について

酒田市議会政務活動費の交付に関する条例第7条第1項に基づき、別紙のとおり令和3年度政務活動費報告書を提出します。



様式第7号(第5条関係)

令和3年度政務活動費収支報告書

会派名 公成会

1 政務活動の成果

令和2年に世界規模で感染流行した「新型コロナウイルス感染症」は日本国内でも流行し、令和3年においても感染者の増加や、感染防止に伴う経済低迷の要因になった。酒田市においても感染者はごく少数であったが、同様の影響があり、市民の自粛による経済活動が鈍化の様相であった。会派の活動として、移動自粛等があり視察を行う事ができなかったが、医療の最前線で陣頭指揮を執る日本海総合病院 栗谷理事長との対談や情報交換を行い、その内容を会派会報として市民に報告する活動を行った。結果として、酒田市民の新型コロナウイルス感染症に対する理解や対応力が深まったと考える。

2 収 入 政務活動費 1,950,000円

3 支 出 (単位:円)

科 目	金 頓	備 考
調査研究費	0	
研修費	0	
広報費	754,853	会派会報発行
広聴費	0	
要請・陳情活動費	0	
会議費	0	
資料作成費	7,789	コピー代
資料購入費	0	
人件費	0	
事務所費	0	
合 計	762,642	

4 残 額 1,187,358円

(注) 備考欄には主たる支出の内訳を記載する。

様式第8号(第5条関係)

政務活動費支出内訳書

支出科目 1 調査研究費 2 研修費 3 広報費
4 広聴費 5 要請・陳情活動費 6 会議費
7 資料作成費 8 資料購入費 9 人件費
10 事務所費

NO	年月日	内 容	債 権 者	金 額(円)	備 考
1	R 3. 7. 15	会派会報 NO. 4	(株) 小松写真印刷	754,853	領収書・支払報告書
					領収書・支払報告書
合 計				754,853	

No 044992

領 収 証

酒田市議会公成会 御中

令和元年7月15日

金額	百万	千	円
	7 5	4 8	5 3

但 会員会報№44号とて(100円含)

(消費税

円含む)



株式会社小松写真印刷

コマツ・コーポレーション

現 金	✓
小切手	
手 形	
相 殿	

本社 山形県酒田市京田2丁目59-3 TEL(0234)41-0011
仙台支店 宮城県仙台市青葉区二B町14-5 PJビル3F TEL(022)214-0071
秋田支店 秋田県秋田市山王3丁目1-7 東カピル7F TEL(018)824-5633
鶴岡支店 山形県鶴岡市余慶町10-8 ボヌールF-F TEL(0235)24-2167
東京事務所 東京都港区芝大門1丁目1-32 TEL(03)6809-2690
御成門エクセレンビル7F
新潟営業所 新潟県新潟市中央区南越口1丁目1-54 TEL(026)248-8855
日生南館ビル4F
山形営業所 山形県山形市南栄町1丁目1-48-2 TEL(023)674-8898
メゾンソレイユA号

取扱者

20.8.1.50

本証に社印のないもの又領収金額訂正のものは無効とします。

公成会

酒田の
未来を
明るく照らす

こうせいかい

vol. 4

令和3年7月7日発行

〈発行元〉酒田市議会「公成会」
〈発行責任者〉会長 富樫 幸宏



国史跡指定になった山居倉庫にて

新型コロナウイルス感染症が日本で初めて確認されてから、一年半が過ぎようとなります。いまだ終息の見通しが立たないなかで、間もなく東京オリンピック、パラリンピックが開催されます。万全な対策のもと、世紀の大イベントが感染拡大することなく開催できることを願うばかりです。

新型コロナウイルス感染症は、おごる人類への戒めのように思えてなりませんが、新しい生活様式を通して改めて人類の生き方を見直してみるようになると想われているようです。今回の会派会報は、新型コロナウイルス感染症対策特集号として山形県・酒田市病院機構、日本海総合病院の栗谷理事長と「公成会」所属議員との対談が実現しましたので、次頁以降をご覧いただき、新型コロナウイルス感染症対策にお役立てください。

市民皆様へのワクチン接種が進むなか、生活支援事業対策は国・県との連携のもと、しばらく継続していかなければならないと思います。皆様より「公成会」議員に新たな支援策や提案をいただきながら、その実現を目指して努力してまいりたいと思います。

アフターコロナを見据えた事業も着々と進行しており、ソフト・ハード事業両面で先を照らす事業の実現に「公成会」所属議員は、これからも邁進してまいります。

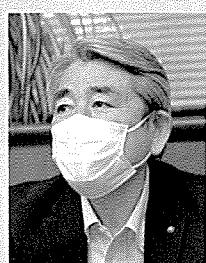
ご挨拶

会長 富樫 幸宏



医療の最前線で陣頭指揮を取る
日本海総合病院栗谷理事長との
対談内容です。

佐藤 猛 議員



変異ウイ

ルスへの置
き換わりが
急速に進ん

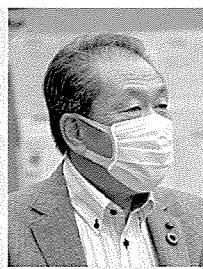
でおり、感
染力や重篤率が従来と比べ高いと
言われております。現行のワクチ
ンの有効性と対策について伺いま
す。

栗谷理事長

わが国で現在接種されている新
型コロナウイルスのワクチンはファ
イザー、モデルナ、の2種です。
アストラゼネカ製も認可導入され
ましたが、5月に厚労省から当面
使用しないと発表がありました。
新型コロナの変異ウイルスは世界
中で既に1000以上見つかって
いますが、殆どは自然淘汰されま
す。現在警戒している変異型は
英國型を含めて4種で、インド型
もその一つです。最も広がつてい

るのは、昨年9月に発見された英
国型で、130カ国で報告され、
わが国でも拡大が続き、現在では
殆どが英國型を含む変異型に置き
換わっているらしいです。最近注
目、警戒している変異ウイルス
はインド型で、英國型より感染力
が強いとされ、東京都は先月中旬
からインド型のPCR検査を実施
しています。変異型へのワクチン
の発症予防効果ですが、1回接種
でファイザー製34%、モデルナ製
34%、従来型への有効率に比べる
とかなり低い有効率ですが、2回
接種ではファイザーの場合、英國
型で93%、インド型で88%の予防
効果があるとされています。モデ
ルナ製も同種のワクチンなので効
果はほぼ同じと考えて差し支えな
いですが、いずれにせよ必ず2回
接種するのが基本です。今後的新
たな変異株出現ですが、ウイルス
の変異は遺伝情報のコピーミスの
結果起きるもので、新型コロナウ
イルスは平均15日で変異を繰り返
すと言われています。従って、ウ
イルスが存在する限り変異型の出
現が止まることはなく、新たな変
異型は今後も出現します。

堀 豊明 議員



医療従事者、65歳以上の高齢者へのワクチン接種が始まり、順次一般者への接種も開始されると思われますが、医師・看護師の確保などの体制強化について伺います。

栗谷理事長

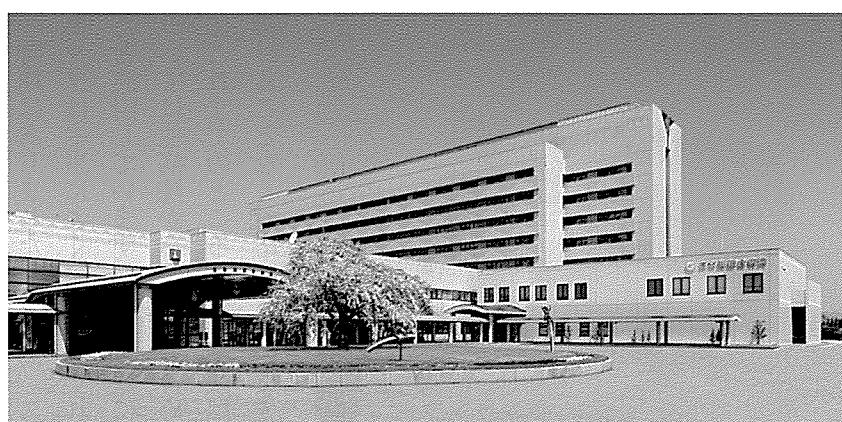
ワクチン接種は主に自治体行政が主体となり計画を立案しますが、地区医師会や関係者と協議しながら実際の計画が立案されます。集

団接種と手上げしたかかりつけ医による個別接種に分かれますが、酒田市の場合、集団接種には地区医師会の協力体制が大きく貢献しています。個別接種には43の診療所が手上げして協力しており、当病院機構からは八幡クリニックが個別接種に応じています。集団接種については酒田市の担当部局と医師会が調整会議で協議しながら計画を立てていますが、接種スタッフは輪番制で地区医師会、病院から派遣しています。酒田市においては深刻な打ち手不足は今のところ聞いておりませんが、接種申し込みされた市民から、実際の接種予約がかなり先になるなどの不

安の声は聴いています。なお、飛島地区には当院から医師看護師薬剤師事務など8人が6月11日に赴き、飛島診療所の2名のスタッフと協働して140名近くの島民の1回目接種が行われています。政府は1日100万件接種目標を打ち出して、それに近い成果も出でていますが、接種計画はこれからが本番を迎えるところで楽観はできません。これと別に都道府県等による大規模接種や、企業、大学単位での接種も可能となっています。ただ、接種人数が100人以上などの規定があり、当初は大企業でないと難しい所もあつたのですが、最近はそちらの方も緩和する方向にあるようです。打ち手の医師看護師確保などは個別に手立てをしないとならないので、地方では困難なところも出てくるでしょうが、中小企業や個人事業主などでは、業界や複数企業で纏めて、地区医師会や行政に対応する窓口を作つてサポートして貰いながら実施するなどの方法も、考えてみても良いと思います。

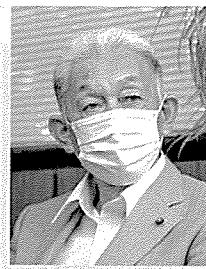
打ち手の範囲も医師、看護師から、歯科医師、薬剤師、救命救急

士など様々な職種に広げる動きがあります。これも時間制限がある話で、根回しに時間ばかりかかる日本型調整の末に、決まった時は打ち手が必要なくなつていたということにならないよう願いたいです。



高橋 千代夫 議員

PCR検



について伺います。



栗谷理事長

庄内地域のPCR検査は、県の衛生検査所、莊内病院、当院が分担して受け持っていますが、日本海総合病院のPCR検査機器は2種類のものが入っています。検出

抗原検査、抗体検査も出来ますので、日本海総合病院の新型コロナ検査体制は、機器も含めて相当充実していると云えます。

これまでの検査件数は自院の検査の他、庄内保険所や他の医療機関から依頼を受けた濃厚接触者の受託検査などが主でしたが、多い時で70検体を超える日もありました。当院の検査は専用の陰圧アイソレーター内で行うのですが、遺伝子検査レベル2Bという、高い安全基準がクリアされたものです。

検査室の空調工事など新規発注が必要となり、2千万を超える整備費用が発生しましたが、安全のためには必要な予算でした。PCR検査に従事するスタッフ数は当初8人だったのですが、件数が増えることを予想して昨年研修に派遣して増員したので現在は12人のスタッフがおり、更に3人を追加増

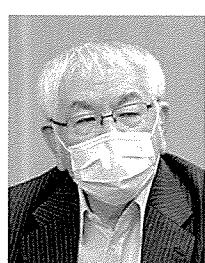
必要ウイルス量で精度が違います
が、当院の機種は精度が最も高いロツシュー社とベックマンコールター社のものが両方導入されており、この他に精度はやや落ちますがランプ法などによる検査も可能です。

この他に検査の種類は違いますが、

員の予定です。クラスター発生時には検査室が多忙を極めたため、日本海ヘルスケアネットのメンバーである本間病院からも検査室に応援に入つて頂くことが出来たので大変助かりました。

斎藤 直 議員

医療体制のひっ迫が懸念されるなか、コロナ対応や一般医療を問わず他の病院からの転院も受入れているとお聞きします。今後の対応や受け入れ態勢について伺います。



栗谷理事長

日本海総合病院は第2種感染症指定医療機関なので、

他病院から紹介の重症患者を含めた感染者の受け入れを行っていますが、軽症患者については莊内病院と分担しながら対応しています。



写真はイメージです

首都圏や一部道府県の様に感染爆発で医療逼迫、崩壊懸念というところまではいきませんでしたが、患者さんの治療や院内感染防止対策などに人手が何倍も取られ、特にICUなどに入室する重傷者への対応は、医療者自身の感染防御にも留意しないなりません。緊張を強いられる時間が長く、人手も通常の6倍程度かかるので、スタッフの疲労が相当厳しくなった一時期はありました。この間、スタッフは本当によく頑張ってくれたと感謝しています。一般診療については他病院からの紹介も含めてこれまでのところ、特に制限は設けることなく対応できています。

佐藤 喜紀 議員



コロナ禍のなかで、地域医療連携推進法人日本海ヘルスケアネットによる連携した取り組みは、どのようなものか、伺います。

栗谷理事長

日本海ヘルスケアネットとしてのコロナへの対応ですが、昨年4月の第一波発生時に通常の急性期医療が相当ダメージを受ける可能性があつたことから、臨時理事会を開催して対応を協議したのが最初です。医療機関や介護施設でクラスターが発生すれば地域が共倒れになりかねない危機感から急速に開催されました。

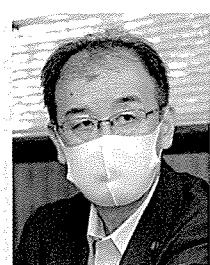
各参加法人へ面会制限等の徹底を申し合わせ、特に民間医師紹介所を介して首都圏から派遣される医師の人数、期間などを確認し、可能な限り見合わせること、施設内感染防止のためPCR検査を受けた医療機関や施設職員の保

健所への確認、特に医療、介護施設職員については発熱症状のある場合は直ちにPCR検査を実施して白黒の決着を早急につけること、感染対応のための防御機材、PP-Eなどの在庫状況をオンラインで共有すること、等々を昨年5月8日から実施、物資が不足の参加法人には余裕のある所から融通する仕組みも整えました。さらに各施

設の入所者数、状況などの確認、各法人には個別の事情もあるので、それらも共有して、可能な限り支えあう仕組みを構築しました。参加法人の山容病院におけるクラスター発生時の日本海ヘルスケアネットの対応を少し述べます。最初の発生は昨年12月4日、急遽実施したPCRで入院患者5名が陽性と判明、その後最終的に病院関連感染者は24名に達しました。日本海ヘルスケアネットとして対応を直ちに開始、医療資材、器材の提供、日本海総合病院から職員を派遣し、感染区域と非感染区域を分離するためのゾーニング支援、医師、看護師を含めた医療職員、事務職員の派遣支援、PCR検査の受託、などが行われました。感染

区域を一か所に絞り込んでいく戦略が功を奏し、12月18日を最後に陽性者は発生せず同月29日には終息宣言が出されました。山容病院の懸命な対応と協働で対応できたことは異例の短期間で抑え込みに成功したと考えています。

進藤 晃 議員



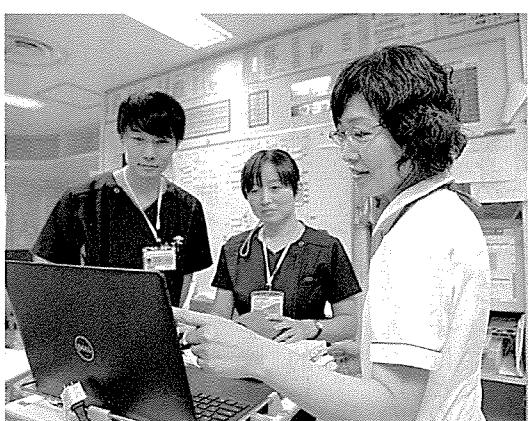
医師・看護師においては、過重

労働や感染リスクの緊迫したなか、常に使命感を持つて従事されているものと思われます。現状の労働環境と今後の対策について伺います。

栗谷理事長

容態が思うように改善しない場合はスタッフも気持ちが落ち込み、疲労も倍加します。しかし回復されるとそれまでの疲れが一気に吹き飛び、職業人としての達成感や喜びも感じます。当病院機構はこの区域の対象人口にある病院とし

ては医師数が多い方で、医療圈で比較するとまだ単位人口当たり医師数は全国平均に及びませんが、酒田市単独ではそれを上回っています。他地域と比較するとかなり惠まれた状況であることは確かです。当院の場合も一時は追い込まれて切迫した時期が全くなかつたわけではありませんが、配置人数や勤務交代の工夫、家族と一緒に過ごすのが難しい担当職員などには、病院がホテルを用意するなど出来るだけの対策をとりました。現在では大分緩和傾向にはあります。



しかし、感染者が多く医療逼迫、崩壊、が今も喫緊の課題となっている首都圏や一部の都道府県では

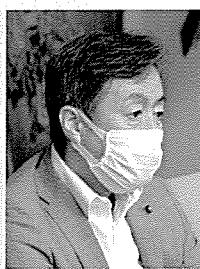
状況は改善されておらず、人口当たり病床数が世界一の我が国でなぜ医療崩壊が懸念されるのかについて、日本の医療提供体制の構造的な問題を指摘する声が出てきています。6月9日に出された経済財政運営と改革の基本方針2021（案）、いわゆる骨太の方針では、今回のコロナ感染における経験を踏まえ、地域医療連携推進法人制度等を活用して、地域医療構想を実現していくことを書き込まれていますので、課題となっている医療提供体制の基本構造への切り込みも進むのではと期待しています。

栗谷理事長

以上必要になるので、一般診療を制限する瀬戸際まで追い込まれた時期もありました。



安藤 浩夫 議員



コロナ受

入れ病床やICU・エクモなど、ハード面での確保について伺います

より1台増設されて現在は3台が設置されています。感染者の収容病床については、日本海総合病院として減床計画が立てられていましたが、新型コロナ大流行が重なったので、減床予定の41床をそのままコロナ病床に転用しています。一時期、稼働状況がかなり高くなつた時期もありましたが、現在は落ち着いています。重傷者を入れるICUの陰圧感染症病室は2床だけで、しかも1人入院すると感染防止対策のために隣室を空けな

日本海総合病院にはECMOはもともと2台ありましたが、昨年の第1波の後に、国、県の支援に

対応について伺います。



佐藤 伸一 議員

コロナ回

復患者の後方支援体制と、後遺症とみられる

しいのですが、合理的な判断と実行、戦略が求められると思います。

ければならず、担当スタッフも倍以上必要になるので、一般診療をくべきかについては、議論がいろいろあって結論は難しいところがあります。平時の備えは極めて大切ですが、備えを維持するためには継続的に費用も発生するわけで、効率的な対応を怠れば、今度は備えを十分にしたが故に財政的に追い込まれて通常医療に深刻な影響が及ぶ、という本末転倒にもなりかねません。この辺りは判断が難しいのですが、合理的な判断と実行、戦略が求められると思います。

コロナの後遺症は味覚障害や脱毛、倦怠感など多様な症状が知られていますが、分かつていいないとばかりで、肺や心臓への恒久的障害、ウイルス後疲労症候群、等々、持続する症状が複合的に絡んでいると考えられています。症状は多様で味覚・嗅覚障害だけの人、日常生活に支障を来すほどの倦怠感、全身の痛みなどを訴える人も一定数いると云われます。ただ一般臨床検査では異常が見つからないことが多く、コロナ後遺症の診断は今のところかなり難しいようです。治療も漢方薬、抗うつ剤など薬物療法、運動療法などを状態に応じて実施していますが、有効な方法は確立されていません。大学や診療所などに後遺症を扱う医療機関も出てきていますが、当地域に限定すると深刻な後遺症が疑われる患者さんの報告は今のところ上がつておりません。高齢者は長期臥床だけで大幅な筋力低下が起りますが、コロナに限らず日本海総合病院ではリハビリの必要性から入院期間が長くなることはなく、同じ病院機構の酒田リ

ハビリテーション病院や日本海ヘルスケアネット参加法人などに転院してアフターケアを機能分担しながら対応しております。

松本 国博 議員



感染症法
上の位置づけが見直されようとしており、将来はインフルエンザと同等になるとも言われています。それまでは、現在の生活様式（マスク着用、3密対策）の継続が必要と思われますが、ほかに新たな対策など提案はないでしょうか、伺います。

新型コロナに限らず、ウイルス感染症への生活様式における感染予防は1910年代に大流行したスペイン風邪の時代以来、何をわってはいません。ただ、ウイルスを大気中にまき散らす飛沫やマイクロ飛沫などの飛散動態解析、感染力持続性、通常会話やくしゃみ、カラオケなどによる飛沫飛散

様式などはかなり正確に分析されています。新型コロナ感染症拡大防止のキーワードは「飛沫」です。飛沫はウイルス（0.1マイクロ）の周りに水分やたんぱく質が付いたしぶきで、大きさは5マイクロ～100マイクロメートル。感染者の鼻や口からしぶきとして飛び出し空中を漂います。2メートル以上の社会的距離も保てば、「飛沫感染」に効果的ですが、飛沫がついたドアノブなどに触れると、手を介して「接触感染」も起きます。

飛沫感染を防ぐ手軽で効果的な予防はマスクで、マスクの役割としては1つはくしゃみ、咳を含む飛沫感染を防ぐ手軽で効果的な密対策）の継続が必要と思われますが、ほかに新たな対策など提案はないでしょうか、伺います。



いま一つ、接触感染も防げます。人は通常、1時間に10回以上、自分の鼻や口、目の付近を無意識に触るのですがマスクで鼻や口を覆えば、接触感染もある程度避けられます。ただ、マスクだけでは飛び出す飛沫を完全には防げません。マスクの穴は5マイクロで、飛沫状態では穴に引っかかるが、マスクと顔の隙間などから漏れて外へ出ます。飛沫は風が無ければ毎秒30～80センチの速度で床へ落ち、漂う時間は5秒以内、距離換算で2メートルになります。ただし、最近の研究から、飛沫でも大きさが10マイクロ以下と極めて小さい「マイクロ飛沫」は感染力が高いと云われます。遠くまで飛ぶうえ長い時間室内などにとどまるのが理由です。80%アルコールによる手指の消毒等の効果も絶大で、身近な衛生品の普及も大きいと思われます。

栗谷 理事長



感染抑制を最優先しながら経済回復の両立を図っています。

かなくてはなりません。医療の立場からの考えを伺います。

感染防止対策と経済、社会活動の両立がいかに難しいかは、今回の新型コロナで世界中が思い知らされました。新型コロナワクチンは遺伝子操作技術を使って昨年末



から緊急開発された人類史上初めての種類のワクチンです。認可も異例の速さで進められ、極めて短期間で接種までこぎ着けました。これまでの通常インフルエンザワクチンの効果は50～60%程度であるのに対し、今回の新開発ワクチンはファイザー、モデルナの場合、いずれも90%以上と極めて高い効果があることが分かっています。

ワクチンは地域人口の7割が接種を終えると集団免疫が成立し、新規感染者の再生産数は劇的に低下していくとされます。したがって、ワクチンがまだ開発されていないのか、現在のように国を挙げて接種率を高めている最中か、集団免疫が成立した後かではそれぞれ感染予防対策、経済社会活動方針が違つてきます。今回ワクチンが開発中、治験中の最中にあつた昨年末から今年の初めまでは、政府、都道府県がとつた蔓延防止等重点措置、緊急事態宣言はある程度やむを得なかつたと思います。

ただ、こうした対策が効果を出すには政府、行政にある程度の強制権限を持たせないと中途半端になつて、期待された効果に結び付



写真はイメージです

終えた人を少しでも増やすのが現在やるべきことで、そのためにはもう一工夫あつてもよさそうな気はします。

高齢者の優先接種は、感染すれば重症化しやすく医療費も高くなるというのが理由の一つと聞きましたが、一方では、感染しても無症状か軽症で済むのが殆ど、感染に気付きにくく、したがってスプレッダーになる可能性が最も高いのは高齢者よりも若い人達です。社会活動、経済活動に関わる機会が多く、地域を跨ぐ移動、接触も多い、生産年齢世代を先に接種した方が、感染拡大を抑え込むにはより効率的ないかと私は思うのですが、一般的にはそうは考えられていないうえです。

6月25日に新型コロナウイルス
感染症について、栗谷理事長より
お話を伺うことができました。変
異ウイルス、ワクチン接種、医療
体制、感染後の後方支援、社会・
経済の再生と多岐にわたりアドバ
イスを頂戴しております。情報と
して市民の皆様にいち早くお知ら
せしたいとの思いから会報を発行
いたしましたが、日々変化する状
況からお手元に届く頃には、また
新たな変化があるかもしれません。
それでも、少しでも不安を解消
しあ役に立てればと思つております。

- ワクチン接種は個人の意思であり、ワクチンハラスメントはあってはいけません。
 - 感染リスクは誰にでもあることから、感染者に対する差別や誹謗中傷をなくしましょう。
 - 日々最前線で医療に従事されている皆様に、心から感謝申し上げます。

*要管理車両との連携は新型コロナウイルス感染症予防策を講じて実時間にて行い、集合写真撮影時のマスクを外して撮影いたしました。

様式第8号(第5条関係)

政務活動費支出内訳書

支出科目	1 調査研究費	2 研修費	3 広報費
	4 広聴費	5 要請・陳情活動費	6 会議費
(7) 資料作成費	8 資料購入費	9 人件費	
	10 事務所費		

No	年月日	内 容	債 権 者	金 額(円)	備 考
1	R3.5.13	4月コピ一代	酒田市長	1,615	領収書・支払報告書
2	R3.6.9	5月コピ一代	酒田市長	325	領収書・支払報告書
3	R3.7.9	6月コピ一代	酒田市長	1,568	領収書・支払報告書
4	R3.8.10	7月コピ一代	酒田市長	1,278	領収書・支払報告書
5	R3.9.3	8月コピ一代	酒田市長	2,254	領収書・支払報告書
6	R3.10.5	9月コピ一代	酒田市長	749	領収書・支払報告書
合 計				7,789	

納入通知書・領収書

998-8540
酒田市本町2-2-45

公成会様

下記の金額を納期限までにお支払ください。

金額	¥1,615 円
納期限	令和3年5月20日

摘要	会派等コピー代(4月分)
----	--------------

発行日 令和3年5月6日
管理番号 0013057-001

酒田市長 丸山至

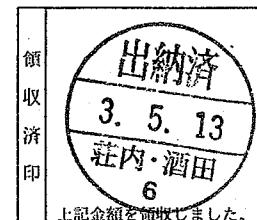


下記の場所にてお支払ください。
庄内銀行、山形銀行、きらやか銀行、北都銀行
東北労働金庫、鶴岡信用金庫
庄内みどり農協、袖浦農協、山形県漁協

(郵便局、ゆうちょ銀行では納入できません)
062049 山形県

酒田市

(納入者用)



納入通知書・領収書

998-8540
酒田市本町2-2-45

公成会様

下記の金額を納期限までにお支払ください。

金額	¥325 円
納期限	令和3年6月15日

摘要	会派等コピー代(5月分)
----	--------------

発行日 令和3年6月1日
管理番号 0021402-001

酒田市長 丸山至

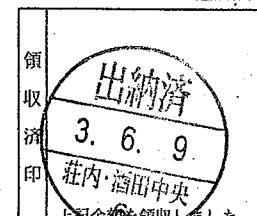


下記の場所にてお支払ください。
庄内銀行、山形銀行、きらやか銀行、北都銀行
東北労働金庫、鶴岡信用金庫
庄内みどり農協、袖浦農協、山形県漁協

(郵便局、ゆうちょ銀行では納入できません)
062049 山形県

酒田市

(納入者用)



納入通知書・領収書

998-8540
酒田市本町2-2-45

公成会様

下記の金額を納期限までにお支払ください。

金額	¥1,568 円
納期限	令和3年7月15日

摘要	会派等コピー代(6月分)
----	--------------

発行日 令和3年7月1日
管理番号 0031441-001

酒田市長 丸山至

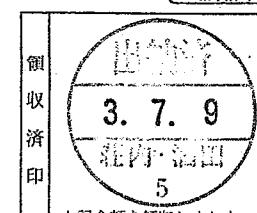


下記の場所にてお支払ください。
庄内銀行、山形銀行、きらやか銀行、北都銀行
東北労働金庫、鶴岡信用金庫
庄内みどり農協、袖浦農協、山形県漁協

(郵便局、ゆうちょ銀行では納入できません)
062049 山形県

酒田市

(納入者用)



納入通知書・領収書

998-8540

酒田市本町2-2-45

公成会様

下記の金額を納期限までにお支払ください。

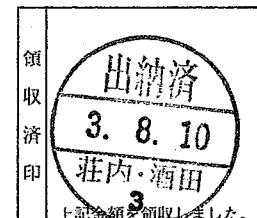
金額 ￥1,278円

納期限 令和3年8月16日

摘要	会派等コピー代(7月分)
----	--------------

発行日 令和3年8月2日
管理番号 0040990-001

酒田市長 丸山至



下記の場所にてお支払ください。
 庄内銀行、山形銀行、きらやか銀行、北都銀行
 東北労働金庫、鶴岡信用金庫
 庄内みどり農協、袖浦農協、山形県漁協

(郵便局、ゆうちょ銀行では納入できません)
 062049 山形県 酒田市

(納入者用)

998-8540

酒田市本町2-2-45

公成会様

納入通知書・領収書

下記の金額を納期限までにお支払ください。

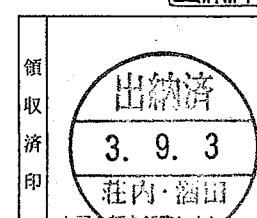
金額 ￥2,254円

納期限 令和3年9月15日

摘要	会派等コピー代(8月分)
----	--------------

発行日 令和3年9月1日
管理番号 0050033-001

酒田市長 丸山至



下記の場所にてお支払ください。
 庄内銀行、山形銀行、きらやか銀行、北都銀行
 東北労働金庫、鶴岡信用金庫
 庄内みどり農協、袖浦農協、山形県漁協

(郵便局、ゆうちょ銀行では納入できません)
 062049 山形県 酒田市

(納入者用)

納入通知書・領収書

下記の金額を納期限までにお支払ください。

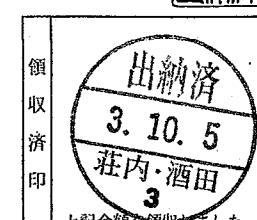
金額 ￥749円

納期限 令和3年10月15日

摘要	会派等コピー代(9月分)
----	--------------

発行日 令和3年10月1日
管理番号 0059378-001

酒田市長 丸山至



下記の場所にてお支払ください。
 庄内銀行、山形銀行、きらやか銀行、北都銀行
 東北労働金庫、鶴岡信用金庫
 庄内みどり農協、袖浦農協、山形県漁協

(郵便局、ゆうちょ銀行では納入できません)
 062049 山形県 酒田市

(納入者用)